

## 高視認性安全服 保育園を訪問し ひかる服 あかるい服の 大事さ伝える ニッセンケン横浜市 [子どもの傷害予防教育事業] に協力しています

### 「洋服が光ってる!! すごーい」

ニッセンケン神奈川県横浜市の保育園・幼稚園を訪問し、園児を対象に、洋服の安心・安全を伝える講座を行っています。交通事故防止のため子ども用高視認性安全服が光る様子に、園児から大きな歓声があがりました。



NACS 田近秀子氏(左)とペアで、ニッセンケン防災・安全評価グループの竹中直が高視認性安全服について説明しました



電気だけを消した昼間の室内でも、ライトを当てると反射材部分がよく光ります。この変化が子どもたちの興味を引き、“光る服”の大事さを知ってもらえるきっかけになったようです

### 園児自身が、自分の着る服の安全性を学ぶ

この園児向け講座は、公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)主宰で当財団が協力する、横浜市 [子どもの傷害予防教育事業] です。園児が日常生活での事故防止を学ぶことが目的で、今年度はJIS L 4129=子ども服のひもの安全性と高視認性安全服がテーマとなりました。ニッセンケンが、高視認性安全服の試験・規格作成・コンサルティング等広く深く関わっていることから、行政及びNACS 標準化を考える会より“子どもを守る”、この公益的事業への参画のお誘いをいただきました。

### 繊維製品を通じ子どもを守る活動

今年度初めての授業は8月20日、戸塚区の秋葉保育園(写真)で行いました。紙芝居あり、クイズコーナーあり、そして教室の電気を消しての「光る服」体験ありで、園児の皆さんの歓声絶えなく、楽しく学んでいただけたようです。またJIS L 4129規格に合っていない子ども服や、民間団体規格に適合した子ども用高視認性安全服を実際に見たり触ったりしてもらいました。一緒に講座を聴講された日高伸一園長は、園児の皆さんに向け「今日覚えてもらいたいことは、こんなに夜光る服があるということです」とコメントされていました。



来年1月までに市内の各園で合計6回の講座実施を予定しています。この中には、保護者の方に直接お話しできる機会も含まれています。

社会全体で、未来ある子どもを守る。ニッセンケンも、繊維製品の安心・安全を通じ、できるだけ多くの貢献ができればと考えています。